

## 第3学年国語科学習指導案

日時 平成26年11月7日(金) 6校時

対象 3年1組 男20名、女15名 計35名

指導者 村上 知代

### 1 単元名 「論語」の言葉から学ぶ～わたしの「座右の銘」

(教材名 「学びて時にこれを習ふ―『論語』から」)

### 2 単元の目標

#### 第3学年の目標

目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して自己を向上させようとする態度を育てる。

- (1) 歴史的な背景などを想像しながら、孔子のものの見方や考え方について自分の考えをもつことができる。
- (2) 表現のしかたや文体の特徴に注意して漢文を読み味わうことができる。

### 3 単元の評価規準

観点	B：おおむね満足できる
国語への関心・意欲・態度	古文や漢文を読み、様々な見方で読み味わって自分の意見をもとうとしている。
読む能力	・古文や漢文を読んで、文章に表れているものの見方や考え方の違いを整理し、人間・社会・自然などについて自分の意見をもっている。(エ) ・同じ作品の中の複数の文章、類似したテーマの文章等を読み比べるなどして、新しい魅力を知ったり自分の考えを深めたりしている。(オ)
言語についての知識・理解・技能	歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しんでいる。(ア(ア))

### 4 単元について

#### (1) 生徒について

本学級は、明るく授業に積極的に取り組み、グループでの学習も協力し合っている。しかし、学習面での個人差が大きく配慮を要する生徒もいる。生徒は、1学年で「いろは歌」や「竹取物語」、「故事成語」、2学年で「枕草子」「平家物語」「漢詩の風景」等の学習を通じ、様々な古典に親しんできている。しかし、音読には進んで取り組むものの、古典の文章や言葉の決まりを難しいと感じ、その作品の背景や主題をとらえることについては苦手意識を示す生徒も多い。

そこで本単元では、古典作品の主題や背景をとらえながら、その特徴を生かして自分の座右の銘を選ぶという学習を通して、古典に表れたものの見方や考え方にふれたり、作者の思いを想像したりしながら古典の世界に親しむことをねらいとして学習を進めていきたいと考える。

#### (2) 教材について

主教材「学びて時にこれを習ふ—『論語』から」は、「論語」を出典とする。「論語」は、紀元前の中国において、孔子の言行及び門人や当時の人との問答を中心に、孔子の死後、編集され成立したものである。日本に最初に伝来した漢籍といわれ、日本人のものの考え方（思想、倫理、学問）に大きな影響を与えてきた。現代でも、「論語」を出典とする数多くの言葉が格言や座右の銘として、多くの日本人の心のよりどころとなっている。3年間の古典や漢文学習の復習やまとめとして適切な教材であると同時に、中学3年生という進路選択に向けて心の揺れ動くこの時期に、生き方・考え方の指針となるような作品に触れることは大きな意義があると考えられる。

### (3) 指導について

本単元は、「目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力」を身につけるため、「座右の銘を『論語』の中から選ぶ」という言語活動を位置付ける。この言語活動では、「論語」のさまざまな章句の中から、生徒がこれからの生活の指針やよりどころとなるような言葉を選ぶ。「何となく」ではなく、選んだ理由を意識させた上で座右の銘とさせたい。このことにより文章の内容の理解を深めたり、ものの見方や考え方を広げたりしながら、読む能力の育成を図るものである。

「場のつながり」としては、生徒が発表する際の文末表現（話形）に注意して話すようにさせたい。

「教材のつながり」として、本単元は1学年の「いろは歌」「竹取物語」「故事成語」、2学年の「枕草子」「平家物語」「漢詩の風景」、3学年の「君待つと一万葉・古今・新古今」「夏草—『おくのほそ道』から」等の学習を受け、中学校の古典学習のまとめとなるものである。

「人のつながり」としては、「互いの考えを交流する」場面として、前時に各自が選んだ言葉やその理由を小グループで交流する場面を設定する。「互いの良さに気づく」場面として、交流を通して共通点や相違点に気づいたり、他者の作品の優れている点を評価したりするような場面を設定する。「自分の考えをもつ」場面として、他者の作品や意見から学んだことを生かして自分の考えを深める意欲をもたせるような指導をしていきたい。

生徒は、文語のきまりや訓読のしかた等、古文や漢文の基礎的な知識については、学習を積み重ねてきている。しかし、その難解さから古典学習に対して苦手意識をもつ生徒は少なくない。

「論語」は紀元前に成立した作品ながら、そこに示される考え方や教訓的な内容は現代の生活の中でも身近で納得できる内容である。身近な生活に生きる「古典」として、主体的に学習に取り組みさせていきたい。

## 5 単元の系統と他教科との関連

領域	小学校5年	小学校6年	中学校1年	中学校2年
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>竹取物語</li> <li>枕草子</li> <li>平家物語</li> <li>論語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>天地の文（福沢諭吉）</li> <li>狂言柿山伏</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろは歌</li> <li>七夕に思う</li> <li>蓬萊の玉の枝</li> <li>今に生きる言葉</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>枕草子</li> <li>平家物語</li> <li>扇の的</li> <li>仁和寺にある法師</li> <li>漢詩の風景</li> </ul>

社会：歴史的分野「中国文明の発生⇒6世紀孔子、儒教の始まり」

## 6 単元の指導計画（5時間扱い）

- (1) 「座右の銘」とは何かを知り、単元の見通しをもつ。漢文の読み方のきまりを確認し、「論語」や孔子についての基本的知識を得る。（1時間）
- (2) 本文の四つの章句について内容を理解する。（2時間）
- (3) 「論語」（本文及び、資料）の中から自分の「座右の銘」とする言葉の候補を数点選び、選んだ理由とともに書きまとめる。（1時間）
- (4) 前時に選んだ「座右の銘」（候補）を互いに読み合い交流し、一つに決める。（1時間・本時）

## 7 本時について

### (1) 目標

グループでの交流を生かして、自分の「座右の銘」を決めることができる。（読む能力）

- (2) 「自分の考えをもつ<sup>自</sup>」「互いの考えを交流する<sup>交</sup>」「お互いの考えのよさに気づく<sup>気</sup>」場面  
本時の「互いの考えを交流する」場面は、前時に各自が選んだ言葉やその理由を小グループで交流する場面である。また、その交流から「互いの良さに気づく」場面として、他者の作品の優れている点を評価したり、同じ章句・言葉を選んでも選んだ理由が違うことに気づいたりする場面をもたせたい。「自分の考えをもつ」場面は、自分の座右の銘を決める際に、他者の作品や意見から学んだことを生かして選ぼうとする意欲をもたせるような指導をしていきたい。

### (3) 展開

段階	学習活動	場面	○指導上の留意点●評価の観点（方法）
導 入 10 分	1 前時の学習内容を想起する。  2 学習課題を知る  「論語」の中から自分の「座右の銘」を決めよう		○指導上の留意点●評価の観点（方法）  ○グループでの交流の後、自分の「座右の銘」を一つ選んで決めることを示す。
展 開 30 分	3 前時に書いた「わたしの論語ベスト5」を、小グループで交流する。  4 他作品から自分の「座右の銘」に加えたいと思うものを一つ選ぶ。  5 グループ内での交流や仲間の考えを参考にしながら、自分の「座右の銘」を一つ決める。  6 選んだ「座右の銘」をとなりどうして伝え合って交流する。	<sup>交</sup>  <sup>気</sup>  <sup>自</sup>  <sup>交</sup>	○選んだ言葉とその意味、選んだ理由等を互いに伝え合う。 ○意見交流の観点にしたがって、他作品の優れた点や参考にしたい点などをメモしながら交流させる。 ○選んだ言葉や選んだ理由等で「なるほど」と思うものを選ばせる。 ○なぜそれに決めたのかという理由も書く。 ○その言葉に決めた理由とともに伝え合う。

<p>終 末 5 分</p>	<p>7 学習の振り返りをする。</p> <p>8 次時の学習内容を確認する。</p>	<p>○交流の中で出た意見や他作品への感想を發表する。</p> <p>○他の人の意見との共通点や相違点、納得できた点などについて發表させる。</p> <p>●仲間の意見を参考に、自分なりの理由をもって「座右の銘」を決めることができたか。(ワークシート、發表)</p> <p>○次時の予告をする。</p>
----------------------------	---	---

(4) 板書計画

<p>「論語」の言葉から学ぶ くわたしの座右の銘</p> <p>学習課題</p> <p>「論語」の中から自分の座右の銘を決めよう</p>	<p>交流</p> <p>○お互いの「座右の銘」を交流する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一作品三分程度</li> <li>・選んだ言葉、その意味、選んだ理由等の紹介</li> <li>・意見をメモしながら話し合う</li> </ul> <p>交流のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分と他の人との共通点や相違点は?</li> <li>・選んだ理由を互いに比べてみよう</li> <li>・仲間の意見で納得できるもの一つ選ぼう</li> </ul> <p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その人に合った言葉を選んでいる。</li> <li>・同じ言葉を選んでも、選んだ理由は違っている。</li> <li>・昔の人の言葉だが、今の生活にも当てはまるものがある。</li> </ul>
--	--